



産官学連携で脱炭素社会の実現を 「宗像ブルーカーボンコンソーシアム」始動

産官学連携でブルーカーボンを活かした脱炭素社会の実現を目指す。

6月23日(月)「世界遺産の海で繋がる 宗像ブルーカーボンコンソーシアム」設立式を開催します。本コンソーシアムは世界遺産に登録された「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の豊かな海の保全と活用を通じて、地域課題の解決を目指します。

宗像市では藻場の減少や持続可能な漁業の実現、海洋環境保全が喫緊の課題です。本コンソーシアムは藻場の再生により地域課題を解決しながら、そのブルーカーボン活用を検討・推進し、脱炭素社会の構築に向けた実践的な取り組みを進めます。

設立式には、地元漁業関係者、研究機関、行政関係者、企業、大学など、多様な関係者が参加します。講演や交流会を通して、それぞれの取り組みや課題を共有し、相乗効果とネットワークの強化を図ります。また、今後は連携を通じて、新たなアイデアや具体的なプロジェクトの創出を目指し、共感の輪を広げていきます。

《藻場再生に向けたこれまでの取り組み:河東中学校の生徒によるアカモク増殖施設設置作業体験の様子》



【コンソーシアム設立式 概要】

日 時: 6月23日(月) 14:30~16:45

場 所: fabbit 宗像 イベントスペース (宗像市栄町2-1 赤間駅第二自転車駐車場 2階)

参加者: 地元漁業関係者、研究機関、行政関係者、企業、大学など 計44人

内 容: (1) 講演: 企業の取り組みについて

環境省 地球環境局 総務課 脱炭素社会移行推進室 室長 伊藤 史雄 氏

株式会社エックス都市研究所

サステナビリティ・デザイン部門 地域・エネルギー戦略チーム 山田 健太 氏

(2) 講演: 宗像市の海の現状について

株式会社マサエイ水産加工 代表取締役 正好 輝旭 氏

(3) 交流会 テーマ: 「個々の活動を知る」

【問い合わせ先】※ご取材いただける場合は事前にご連絡ください

宗像市脱炭素社会推進課 担当: 吉田、前田 TEL:0940-36-9875